



Q. サントリー vs ペルージャ戦の動員の手応えをどう捉えているか？

－ 平日に 2 日間とも 1 万 4000 人以上の超満員となった事にバレーボールコンテンツの強さを実感した。新規ファン層の来場もあり、これを機に SV リーグのファンにも繋がって欲しい。サントリーとペルージャのようなクラブ間の提携事例は今後増えていくと思うし、日本開催の国際試合を増やしていきたい。

Q. 女子プロジェクトの展開は？

－ 今は経験値が豊富なプロの支援のもと、クラブとしての運営の実力を蓄えていただいているところ。伸びようとするクラブにフォーカスし、マーケティング、広報、競技運営のリソースを投下して成功事例を複数作っていき、最終的には全クラブに広げていきたい。

Q. SVG ライセンス申請クラブの属性や動機は？

－ もともとバレーボール部を保有しているという事が共通。その中で女子ではオーナーが代わり一般社団や株式会社化して女子バレーをもっと盛り上げていきたいというクラブと、企業スポーツからの延長戦でこれからスポーツ企業への転換を模索するクラブの 2 種類がある。個人での立ち上げも一部あるが、主に法人・団体主導で、地場企業が出資している。

Q. SV ライセンスを保有していれば SVG も兼ねるのか？

－ SVG も兼ねる。

Q. 予備審査を通過しなかったクラブが、今後ライセンスを取得するために必要なことは？

－ まずは SV 準加盟クラブになる事が必要。その上で SVG ライセンス申請を実施する。申請期限や条件などはホームページにも掲載しているが、次回期限は 2026 年 11 月 30 日までで、ルール・期限の遵守、経営理念への適合、財務の健全性が最低限必須。

Q. サッカーがブラジルに歴史的勝利をしたが、その成果をどう見られているか？

－ J リーグが 30 年以上かけて育成システムを強化してきた事が成功の要因だと思う。サッカーは海外経験も増え、物怖じせず海外の強豪チームと戦う事に慣れてきた印象。バスケットは NBA の壁がかなり高いので、B リーグは NBA に次ぐリーグというものを目指している。SV リーグはユースチームもあってレベルも上がっており、できれば中学生年代のうちに海外を経験させてあげたい。大学など若い間に海外でプレーをし、その後日本に戻って世界最高峰の SV リーグにチャレンジしてほしい。

以上